

平成28年度

関東高等学校自転車競技大会

監督会議資料

平成28年6月9日（木）

14：00～

取手競輪場 記者室1F

第 次

開会のことば

挨拶

関東高等学校体育連盟自転車競技専門部 部長 稲葉 裕一

関東高等学校体育連盟自転車競技専門部 理事長 川上 等

競技運営・審判事項 トラック審判長 池田 弘志

ロード審判長 小口 英之

連絡事項

※ 宿泊について

株式会社 JTB 関東

場内の説明

協賛社ブース紹介 他

閉会のことば

1 共通事項

(1) ヘルメット

公認エアロヘルメットは試合時に限り、下記の種目に使用を認める。

【タイムトライアル・チームパーシュート・チームスプリント】

(2) ヘルメットカバー使用種目

【ケイリン、ポイント・レース、スクラッチ、4 km速度競走】

(3) 身体形態上の理由による規定外自転車使用

身体形態上の理由により規定以外の自転車を使用する場合、申請書を学校単位で監督がまとめて、監督会議までに提出する。

(4) ギア比制限

16歳以下の場合も、JCF競技規則ジュニアのギア比（7.93m）を上限とする。

(5) レース・ジャージ

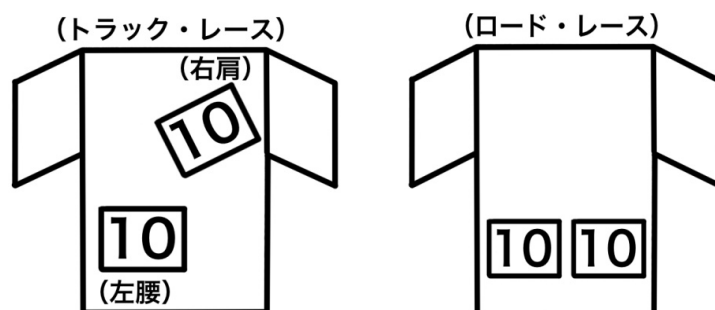
ア. 競技で使用するレース・ジャージは、全国高体連に登録したものをを使用すること。

イ. 新入部員や落車等の破損等の理由により登録外のレース・ジャージについては、無地のものに学校名を記入したゼッケンを貼付して使用すること。

※ 市販されているチーム名スポンサー名の入ったロード・ジャージの使用は認めない。

(6) ゼッケン（ボディナンバー）装着

ゼッケンは、トラック競技・ロード競技では同じものを使用する。



(7) IDカード

選手・監督は常時IDカードを身に付けなければならない。

IDカードは管理された場所に入出入りするために必要である。

(8) コミュニケ等の配布

ア. コミュニケ等は指定された掲示板等に貼付する他にWEBサイトで紹介される。

※茨城県自転車競技連盟WEBページ <http://ibaraki-cf.jimdo.com/>

イ. 各種目のスタートリストの配布は行わない。（プログラムを利用）

(9) 表彰式

ア. 表彰は各種目1位~8位の競技者を対象に下記会場で行う。

但し、女子種目については1位~3位までとする。

〈トラック競技〉 バンク内表彰ステージ 雨天時は特別観覧席3階
〈ロードレース競技〉 つくばウェルネスパーク駐車場 雨天時はヘルスプラザ内
イ. 服装はレース・ジャージとする

2 トラック競技 ※大会特別規則を参照

(1) IDカードを身に付けた選手・監督のバンク内への入退場はバック側のみ通行可とする。

(2) 招集

ア. 招集は本人競技予定時刻の15分前までとする。

イ. 招集では、次の内容の確認を行う。

出走意志, レース・ジャージ, ヘルメット, 自転車およびボディ・ナンバーの確認,
団体種目の出場選手の確認, ケイリンの抽選

ウ. 競走系の種目は、招集後、選手に対する競技上の注意を行う。

エ. 出場時間にスタート準備ができない選手は、棄権扱いとする。選手控所で待機する。

(3) 自転車検査 (検車)

ア. 事故が起こらないように本人の責任において事前確認をしておく。

イ. 再入場の際には再び検査の対象となる。

ウ. 競技終了後、指示を受けた選手はギヤ比検査を行う。

※ ギヤ比検査を受けない選手は、全国総体の選手選考の対象にはならない。

(4) 監督等による競技中の指示および場所

タイムトライアルとパーシュートはスタートライン付近に、その他の種目はバック側インフィールドにていずれもチームで1名とする。

3 ロード競技 ※大会特別規則を参照

【主な日程】

6月11日(土) つくばウェルネスパーク

チップ配布 16:00 ~ 駐車場

車輪情報記入 16:00 ~ 駐車場

競技役員打ち合わせ 17:00 ~ 駐車場

6月12日(日) つくばウェルネスパーク

開門 6:00 ~

招集・サインチェック 7:45 ~ 8:45 ヘルスプラザ前ロータリー付近

交通規制 8:00 ~ 12:00

コース試走 8:00 ~ 8:40

選手集合・諸注意 8:45 ヘルスプラザ前ロータリー付近

男子スタート 9:00

女子スタート 9:01

(1) 招集

- ア. 招集場は、ヘルスプラザ前のロータリー付近に設置する。
- イ. 招集時間は、7：45 ～ 8：45とする。
- ウ. 出走意志，レース・ジャージ，ヘルメット，自転車およびボディ・ナンバーの確認
- エ. サインシートへの記入（フルネーム）その後、計測チップの動作確認を受けること。
- オ. 出走時間にスタート準備ができない選手は棄権扱いとする。

(2) コース試走について

試走時間は6月12日（日）8：00～8：40とする。それ以外の時間については
大変交通量の多い道路のため交通ルールを順守し、コース確認のみとする。

(3) 自転車検査（検車）

- ア. 事故が起こらないように本人の責任において事前確認をしておく。
- イ. フィニッシュ後、スタート・フィニッシュ先のクリーンセンター前で上位者のギヤ比検査をおこなう。
※フィニッシュ後は後続の選手・審判車両などに十分注意しながら道路の左側を徐行し会場へと戻る。
- ウ. 競技終了後、計測チップを回収する。紛失した場合は、実費を請求する。

(4) 関門での打ち切り

- ア. 関門所をスタート・フィニッシュ付近に設置する。最終周回を除く毎週回8位を含む集団から3分以上遅れた競技者を打ち切りの対象にする。
- イ. 女子は3位を含む集団から3分以上遅れた競技者を打ち切りの対象とする。

(5) スタート位置

- ア. シード選手・開催県選手を先頭に下記のように都県別に整列する。各都道府県枠内は先着順とする。
- イ. 女子は先着順とする。



(6) 機材・飲食物の補給について

- ア. 飲食物の補給については認めない。
- イ. 機材の交換については基本的にニュートラルサービスで行うが、チームでの機材交換についてはスタート・フィニッシュ先の指定したエリアの左側からのみ認める。
- ウ. ボトルやゴミなどの投棄は絶対に行わないこと。

(7) レースの中断について

- ア. 多くの人数が一度に落車するなど、大きな事故が発生した場合はレースを中断する可能性がある。その場合審判長の指示に従うこと。
- イ. コース内を緊急車両が走行する場合は、ニュートラリゼーションをかける可能性がある。その場合は審判団の指示に従い速やかに競走を中止し、左側に寄ること。
- ウ. 男子の選手団が女子選手を追い抜く場合は互いに競走はせず、安全を確保し追い抜いて行く。
- エ. ラスト 1 周回で緊急車両等の通行によりレースを中断せざるを得ない場合は、審判団の指示に従うこと。勝敗やその後のレースの取り扱いについては審判団で協議する。

(8) 危険箇所について

- ア. コース上に数か所中央線部にチャッターバーが埋め込まれている箇所があるため、コース試走の際には危険個所の確認を必ず行うこと。
- イ. 危険箇所については黄色い旗やコーンを設置する。
- ウ. 危険箇所については無理な追い越しや蛇行はしないこと。